

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成25年10月3日(2013.10.3)

【公開番号】特開2012-219469(P2012-219469A)

【公開日】平成24年11月12日(2012.11.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-047

【出願番号】特願2011-84577(P2011-84577)

【国際特許分類】

E 0 5 F 15/10 (2006.01)

B 6 0 J 5/06 (2006.01)

B 6 0 J 5/10 (2006.01)

B 6 0 J 5/04 (2006.01)

【F I】

E 0 5 F 15/10

B 6 0 J 5/06 A

B 6 0 J 5/10 Z

B 6 0 J 5/04 C

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月19日(2013.8.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 0】

ここで、遮られた照射光が開側発光部 4 1 のものである場合、ドア E C U 1 0 は、S 6 において、携帯機 3 6 の存在箇所に一致するドア（スライドドア 2 又はバックドア 3）を開作動すべく該当のドア駆動装置 2 0 を制御する。これにより、当該ドアが全開状態となる。このとき、該当のドア（スライドドア 2 又はバックドア 3）が全閉状態にあるときには、ドア E C U 1 0 は、ドアの開作動の開始に先立って、ラッチ機構による当該ドアの全閉状態での保持を解除すべくリリースモータ 1 1 を制御する。特に、開作動の対象がスライドドア 2 であってその施錠状態にあるときには、ドア E C U 1 0 は、ラッチ機構の解除作動の開始に更に先立って、解錠状態に切り替えるべくドアロックモータ 1 3 を制御する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 1】

一方、遮られた照射光が閉側発光部 4 2 のものである場合、ドア E C U 1 0 は、S 7 において、携帯機 3 6 の存在箇所に一致するドア（スライドドア 2 又はバックドア 3）を開作動すべく該当のドア駆動装置 2 0 を制御する。特に、閉作動の対象がスライドドア 2 であってその全開状態にあるときには、ドア E C U 1 0 は、スライドドア 2 の閉作動に先立って、ラッチ機構によるスライドドア 2 の全開状態での保持を解除すべくリリースモータ 1 1 を制御する。また、該当のドア（スライドドア 2 又はバックドア 3）の閉作動に伴い半ドア状態に達すると、ドア E C U 1 0 は、ラッチ機構により当該ドアを全閉状態で保持すべくクローザモータ 1 2 を制御する。これにより、当該ドアが全閉状態となる。特に、

閉作動の対象がスライドドア２であるときには、ドアＥＣＵ１０は、全閉状態への移行が完了すると、施錠状態に切り替えるべくドアロックモータ１３を制御する。